

森永乳業の育児ニュース『エンゼル 110 番レポート第 72 号』

「現代のママ事情」

—————100人のママに聞きました—————

森永乳業は、時代とともに変化する母親像の理解に役立つことを願い、1993年4月から「エンゼル 110 番レポート」を発行しております。この「エンゼル 110 番レポート」は、育児相談窓口「エンゼル 110 番」*への相談内容から、毎回育児に関する傾向についてまとめています。

エンゼル 110 番は、本年5月に開設から40周年を迎えます。この40年間でも、特にこの十数年は携帯電話、スマートフォンの普及で情報環境は大きな変化がありました。そこで、今回はエンゼル 110 番を利用するママたち 100 人にインターネットの利用状況と、数年前から話題になっている産後クライシス(※出産後に夫婦仲が悪化すること)に関するアンケートを実施しました。

【主なアンケート結果】

- 100人中96人が子育てにインターネットを利用
- 電話相談を利用したのは、双方向性と即時性、信頼感と声のあたたかさを評価
- 産後も、パートナーへの愛情は「変わらない」が100人中57人
- 産後の夫婦関係は、夫の家事や育児への協力と気遣いがポイント

* エンゼル 110 番とは…

1970年代は、高度成長期に核家族が急増し、育児環境が大きく変化した時代でした。その社会状況を背景に「子育て奮闘中のお母さんたちのお役に立ちたい」という思いから、1975年5月に、**無料の育児相談窓口『エンゼル 110 番』**を開設しました。今までにお受けした電話相談は90万件を超えました(2015年1月時点)。相談内容は、「何をどれだけ食べさせればよいか」といった“食生活”や「子どもを育てる自信がない」といった“相談者自身”に関してなど多岐に渡ります。相談員は、不安・悩み・疑問を抱えた方たちの話を聴き、一緒に考えることで育児の不安を取り除くことを基本姿勢としています。

また、2014年4月からは、フリーダイヤル化し、より気軽にご相談いただけるようになりました。

◇エンゼル 110 番 電話相談運営概要◇

相談対象	妊娠中～小学校就学前まで
相談員数	19名(保健師、管理栄養士、心理相談員 等)
ウェブサイト	http://www.angel110.jp/

本件・バックナンバーに関するお問い合わせ先

<報道関係者からのお問い合わせ先>

森永乳業株式会社 広報部 高橋 TEL03-3798-0126

<お客さまからのお問い合わせ先>

育児に関する無料電話相談「森永乳業エンゼル 110 番」フリーダイヤル 0800-5555-110

※受付時間:月～土曜日(日曜、祝日除く)、10～14時

<エンゼル 110 番ウェブサイト> <http://www.angel110.jp/>

エンゼル 110 番レポート VOL.72

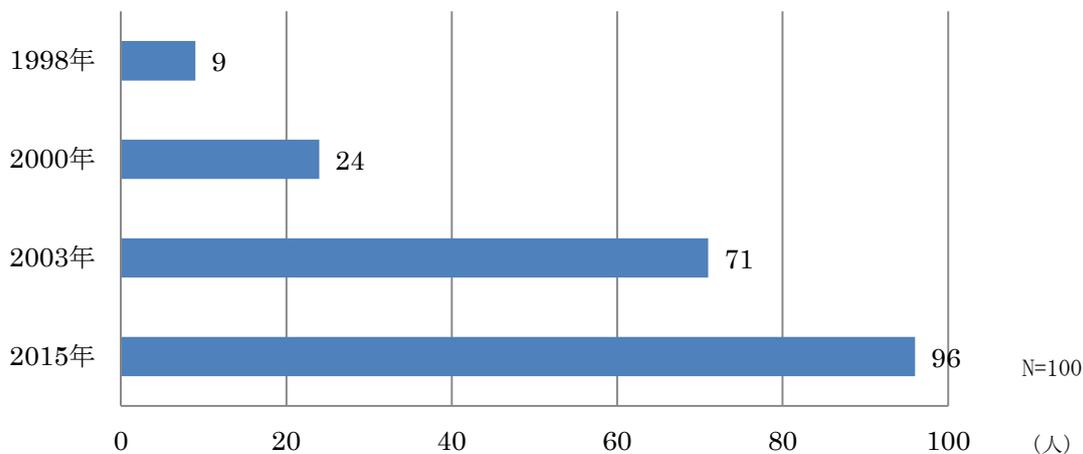
今回のテーマ「 現代のママ事情 」

－100 人のママに聞きました－

96 人が子育てにインターネットを利用

Q1-1. 子育てにインターネットを利用していますか？

図1) 子育てにインターネットを利用していますか？



*1998年と2000年はパソコンでのインターネット利用のみ。

エンゼル 110 番に寄せられる相談で「インターネットで検索したら、〇〇とあって不安になった」というお声が当たり前になって久しくなりました。過去のエンゼル 110 番レポートでも、インターネットの利用については3回取り上げています。(図1参照)

1998年は、マルチメディアブームが起き始めた頃であり、家庭へのパソコン普及率は25.2%でした。このとき、相談者の家庭にパソコンがあったのは100人中43人で、そのうちパソコンを使用しているママは22人でした。そのような中で、用途として「パソコン通信やインターネットを利用して、育児情報の収集」をあげたのはわずか9人でした。(エンゼル 110 番レポート VOL. 21「これからはママもパソコン使います」)

次の2000年は、携帯電話やPHSの加入者数が固定電話を抜き、携帯電話でメールやインターネット接続ができる“iモード”が登場しました。「ふだんから携帯電話やパソコンを使っていますか」という問いかけに対し79人が「両方あるいはどちらかを使う」と答えていました。このとき携帯電話を「メールに使う」が携帯電話を使っている58人中32人で、「インターネットに使う」はまだ7人に止まっていました。一方、パソコンを使っている38人中24人がインターネットの利用目的として、「育児情報(遊び場、育児用品のリサイクルなど)の収集」をあげており、「離乳食のメニューなど、ホームページや掲示板の書き込みを参考にしている」「お宮参りについてわからないことを調べた」という声がありました。(VOL. 31「ママたちのIT革命」)

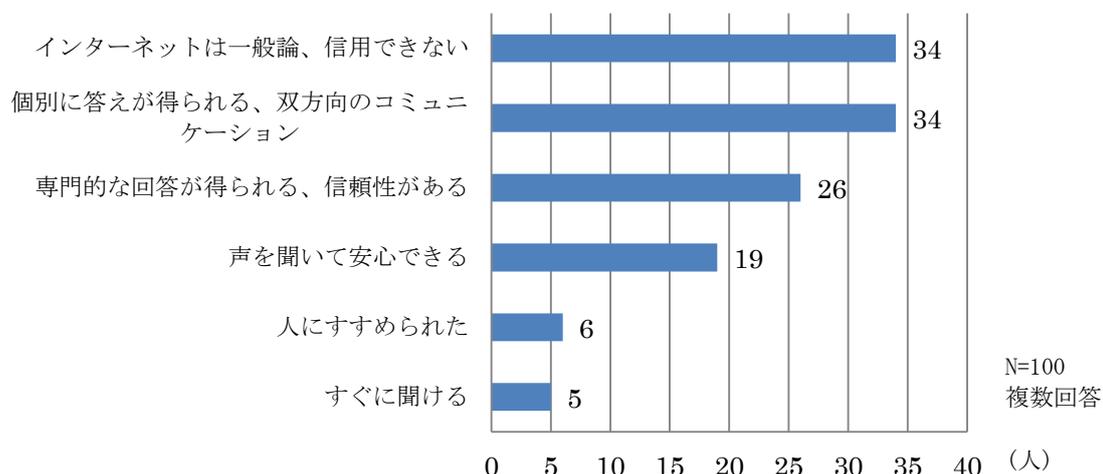
3 回目の 2003 年は、家庭へのパソコン普及率が 57.2%と増加し、さまざまな育児サイトが登場し子育てツールとして利用されるようになっていました。実際、「インターネットを子育てに利用しているか」を尋ねたところ、「現在利用している」が 58 人、「以前利用していたが、今はしていない」が 13 人で、利用したことがある人が全体の 7 割にのぼりました。「これから利用しようと思う」人も約 2 割おり、「以前利用していたが、今はしていない」人も、再び利用したいという声がほとんどだったため、子育てママのインターネット人口は早晚全体の 9 割に達するだろうと考えていました。利用目的としては「情報検索」が 68 人とトップで、内容としては「子どもの身体、病気、予防接種、薬などについて」や「母親の妊娠中や産後の身体について」が 40 人と多く、2000 年より、さらに育児書代わりの様相が強まりました。(VOL. 39 「子育てにインターネットを活用していますか?」)

その後、スマートフォンの普及で手軽にインターネット検索ができるようになり、地下鉄や街中でも手軽にアクセスできるなど、環境も整いました。今回の調査では 100 人中 96 人が「子育てに関する事でインターネットを利用している」と答えました。2003 年のエンゼル 110 番の予測以上に、インターネットはあって当たり前の時代となりました。

信頼感と双方向性、声のあたたかさを評価

Q1-2. エンゼル 110 番に電話した理由は何ですか？

図2) エンゼル110番に電話した理由は何ですか？



次に、インターネットでいろいろ調べることができる状況で、あえてエンゼル 110 番に電話された理由をうかがいました。(図 2 参照)「インターネットに書かれていることは一般論で、わが子には当てはまらない」「情報の真偽がわからない」などインターネット情報に不信感を抱いているといった回答が 34 人で、「電話は話ができるので、オーダーメイドの回答が得られる」「電話で直接聞けば知りたいことがわかる」という電話の特性でもある双方向のコミュニケーションをあげた回答も同じく 34 人から得られました。次いで、「直

接プロに聞きたかった」「専門の知識を知りたかった」など、エンゼル 110 番の専門性や信頼感を 26 人があげています。また、「相談員の声を聞くと安心する」「話を聞いてもらうだけで、心が晴れる」という、人の声から伝わるあたたかさや安心感もあがりました。

他にも「インターネットを見すぎて、過剰に心配になった。かかりつけの小児科医から『もうネットは見るな。心配ならここへ電話しろ』とエンゼル 110 番を教えてもらった」「実母からエンゼル 110 番をすすめられた」というママもいました。

一般的な情報や簡単な内容はインターネットで検索して、発育・発達や授乳の細かい相談は電話でと、上手に使い分けているママがいる一方で、インターネットの溢れる情報に振り回されるママもいます。また、子育て中に感じるさまざまな不安は、情報を得るだけではなかなか解決し難いものも多いでしょう。特に不安を感じるママの気持ちは、人と話してなぐさめられたり励まされたりする中で、安心へと変わっていくように思います。このようなことから、インターネットと比べ、電話は相談に適しており、エンゼル 110 番に寄せられる相談は今後もなくなるのではないのでしょうか。

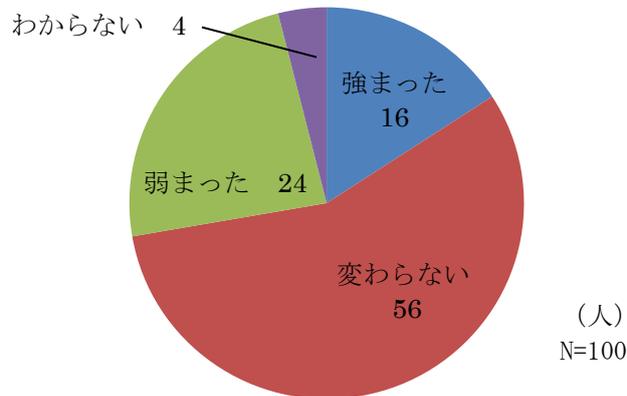
【HOT VOICE】

- ・インターネットの情報は 100%は信じてはいない。参考にする程度。エンゼル 110 番の情報は信頼できる。(8 ヶ月)
- ・インターネットだと検索した項目しか調べられないが、電話なら個別のケースをいろいろ聞ける。(2 ヶ月)
- ・人の声を聞くと安心する。(0 ヶ月)
- ・メール相談もあるが、直接話をしたいのと電話で聞ける手軽さがよい。(0 ヶ月)
- ・初めて電話したときにじっくり話を聞いてもらってありがたかった。(1 ヶ月)
- ・インターネットを見ていたら、どんどん怖くなった。誰かに話を聞いてもらい、「大丈夫よ」と言ってもらいたかった。(7 ヶ月)
- ・姉に聞いたら、「エンゼル 110 番がよかった」と利用をすすめられた。(1 歳)
- ・近所にママ友がない。実家は遠いので、相談する相手がない。(6 ヶ月)
- ・すばやく正確に答えてくれる。他の相談機関と比較してもエンゼル 110 番は対応が丁寧。話を聞いてもらうだけで、心が晴れる。(2 ヶ月)
- ・調べる時間があまりないので、聞いたほうが早いと思って電話をしている。(7 ヶ月)

産後もパートナーへの愛情は「変わらない」が 56 人

Q2. 産後、パートナーへの愛情は変わりましたか？

図 3) 産後、パートナーへの愛情は変わりましたか？



“産後クライシス”は、2012年にNHKの情報番組で語られた造語です。ベネッセ次世代研究所が行った第2回妊娠出産子育て基本調査(2011年)で、配偶者との関係に関する質問項目のうち、妊娠期から2歳児期にかけて「配偶者といると本当に愛していると実感する」「私と配偶者は幸せな結婚生活を送っていると思う」が大きく減少していること、また配偶者からのねぎらいや助け合いの有無で比較すると回答に大きく差が出ました。その結果をもとに、出産後における夫の態度がその後の夫婦関係の危機を招くと、番組で取り上げられました。また、厚生労働省で行っている全国母子世帯等調査(2011年)でも、母子家庭になったときの末子の年齢は、死別を除くと0~2歳が全体の3分の1以上を占め、最も多くなっています。

エンゼル110番にも、産後間もなく離婚を考えて悩むママや、夫の協力を得られず子育てに苦しむママから相談が寄せられます。産後は、夫婦関係にとっても重要な時期だと日々の相談からも感じていました。

そこで、産後パートナーへの愛情は変わったかを尋ねたところ、過半数の57人が「変わらない」と答え、「弱まった」が24人、「強まった」が16人でした。(図3参照)

「変わらない」としたママからは、「子育てを手伝ってくれる」「育児に協力的」といった声が57人中25人から聞かれ、次いで「もともと仲がよい」「関係は変わらない」が16人、「愛情というより、必要になった。絆は強くなった」「愛情としては変わらないが、種類が変わった」など、初めての出産で夫婦二人から親子三人家族になったことでの変化を9人があげました。逆に「弱まった」としたママからは「子どもが一番」「育児に手一杯」「夫にイラッとする」とする言葉が多く聞かれ、「理由はよくわからないが、友人はホルモンのせいではないかと言う」「パパがうっとうしい」など、最近話題になっている「ガルガル期」(*ネットスラング。出産直後のメスが、子どもを守ろうとする本能から近づくものに対して唸って威嚇する行動をとる。この唸り声から産後の一時期を「ガルガル期」と呼ばれている。)と思われる声も聞かれました。(図4参照)

図4) 愛情が変わった・変わらなかった理由(複数回答)

(単位:人)

	愛情が 強まった理由	愛情が 弱まった理由	愛情が 変わらない理由	愛情の変化が わからない
夫が育児に積極的、協力的	12	2	25	0
絆が深まった、同志になった	4	0	9	0
自分に対して気遣いがある	3	0	3	0
夫が頼りになる、安心できる	3	0	1	0
変わらない、もともと仲がよい	0	0	16	0
意見が食い違ってケンカをする	1	1	0	0
夫が育児や家事に非協力的	0	5	3	0
夫にイラッとする	0	7	3	0
自分は子どもが一番	0	8	3	0
夫の方が冷めた印象	0	1	1	0
夫が頼りにならない、気が利かない	0	2	0	0
自分がガルガル期かもしれない	0	4	0	0
自分が育児で手いっぱい	0	7	0	0
里帰り中でわからない	0	0	2	2
ない、その他	0	0	8	2

「強まった」としたママでは、16人中12人が「育児に積極的、協力的」と答えています。また、「愛情が深くなった」「絆が深まった」などが4人、「ちゃんと言葉にして言ってくれる」「以前より優しくなり、気を使ってくれる」など「気遣いがある」を3人があげています。他にも「よくやってくれて頼りになる」「いろいろやってくれて心強い」など、ママが望む以上にパパが自ら動いている様子が伺えました。

このように、産後の夫婦関係は家事や育児への協力や気遣いがポイントになっているようです。

なお、エンゼル110番では2010年から毎年、森永乳業の社員を対象に子育て講座を開催しています。ライフプランや地域の子育て支援サービスを調べるワークショップを行うなどいろいろなプログラムを実施してきましたが、ここでも、常に夫婦間のコミュニケーションとお互いを尊重することの重要性を伝えています。

日頃の相談から、ママたちは「言ってもわかってもらえない」「察して動いてほしい」という声が聞かれます。一方、パパたちからは「感謝はしているが、言葉にするのは恥ずかしい」「何も言わずに、カリカリされても状況のみこめない」という声が返ってきます。そういった相談を受けるたびに、「黙っていても、あなたの気持ちは伝わりませんね。メールでもよいかから伝えてみたら?」「手伝ってほしいときは、具体的に事柄を伝えて、さらに選択肢があるとベストですね」「ねぎらいや、感謝の言葉も添えて」と、お話をしています。アンケート結果を見ても、コミュニケーションを大事にし、お互いを尊重し合うことが、夫婦間の愛情を左右していると思います。

【HOT VOICE】

産後、愛情が強まった

- ・子どもの面倒も見てくれるし、ママがつらいときに自分は忙しくてもメールや電話をくれた。「子どもより、君の幸せを選んでいいよ」と言われ、逆に頑張れた。(1歳8ヵ月)
- ・双子なのでよくやってくれる。パパとママの子育てについての意見が違って、ケンカすることもある。(1歳)
- ・立ち合い出産で心強く感じ、夫を頼もしく思う。第2子は里帰りしなかったが、掃除や洗濯もすべてやってくれた。(1ヵ月)

愛情は変わらない

- ・今は子どものことで忙しくて話をあまりしないけれど、不満もないし現状維持。(10ヵ月)
- ・子育てしてくれる。子どもが生まれてからのほうが仲良しになった。(2ヵ月)
- ・意外に積極的。主体的に育児にかかわり、離乳食も作って食べさせる。(7ヵ月)
- ・夫に対してイライラすることが多くなった。愛情は変わらないが、家族が一人増えた分、やるが増えて、同じことをしていても私が面倒くさくなったのだと思う。(5ヵ月)
- ・親としての責任で結ばれた、子育ての同志。(10ヵ月)
- ・愛情は変わらないが、家事や育児をもっとやってほしいと思う。(2ヵ月)
- ・産後1ヵ月ぐらいは、赤ちゃんに夢中でパパを構ってられなかった。大事な赤ちゃんにパパが触るのも、いい加減な育児のやり方も嫌だった。今は、私もパパも育児に慣れてきて、愛情がもとに戻った。(5ヵ月)

愛情は弱まった

- ・育児に手一杯で、余裕がない。そんなときに、何か言われるとイライラする。(1歳3ヵ月)
- ・子どもに愛情がまわった分、減ったかも。(2ヵ月)
- ・ママは子育てにいっぱいいっぱいなのに、夫は手伝わずに寝ているか、携帯を操作しているかでむかつく。(8ヵ月)
- ・手伝ってくれないで、口だけ出す。亭主関白度が強くて嫌だ。(7ヵ月)
- ・つい最近まで子どもが100%大事で、夫はどうでもよかった。夫は育児だけではなく、ご飯も作ってくれて、まわりからもうらやましがられる。でも、なぜかそんな夫にイライラしていた。(6ヵ月)
- ・子どもが一番になった。子育てのことで意見が合わず、ケンカすることが増えた。(2歳)

調査の概要

- 対 象 : 「エンゼル 110 番」に電話をいただいたママ 100 人
- 調 査 方 法 : 電話による聞き取り調査
- 調 査 期 間 : 2015 年 1 月 29 日～2 月 24 日
- 対 象 者 の 属 性 : 「母親の年齢」 20 代…20 人、30 代…73 人、40 代…5 人、
不明…2 人
「子どもの年齢」 3 ヶ月以下…42 人、4～7 ヶ月…28 人、
8～11 ヶ月…14 人、1 歳以上…16 人

エンゼル110番レポートのバックナンバー

第1号（93/4月）『離乳食』	第36号（02/6月）『ママたちの再就職事情』
第2号（93/7月）『初めての泊まりがけ旅行』	第37号（02/9月）『テレビやビデオをどのように見せていますか』
第3号（93/10月）『胎教』	第38号（03/1月）『夫の育児参加と妻の満足度（その2）』
第4号（94/1月）『お年玉』	第39号（03/4月）『子育てにインターネットを活用していますか？』
第5号（94/5月）『夫の育児参加と妻の満足度』	第40号（03/7月）『子育てコストとママの生活満足度』
第6号（94/8月）『妊娠中の食事について』	第41号（03/12月）『ママたちの育児スタートー産後に望む支援サービス』
第7号（94/11月）『育児雑誌を読みますか』	第42号（04/4月）『子育てママの喫煙・禁煙』
第8号（95/2月）『早期教育は必要ですか』	第43号（04/9月）『信頼できる育児の情報源とママたちの満足度』
第9号（95/5月）『赤ちゃんのアレルギー、気になりますか』	第44号（04/11月）『ママたちの産院選びと立会い出産の実態』
第10号（95/8月）『どんな出産をしましたか』	第45号（05/3月）『妻の実家・夫の実家、どう付き合っていますか？』
開設20周年記念冊子（96/10月）『60万件の電話相談から』	第46号（05/7月）『赤ちゃんのアレルギー、気になりますか？』
第11号（95/11月）『子育て費用をどう考えますか』	第47号（05/11月）『赤ちゃんをだっこした経験ありましたか？』
第12号（96/2月）『子どものこと夫婦で話していますか』	第48号（06/4月）『子育てママの携帯電話活用法』
第13号（96/10月）『赤ちゃんをだっこした経験ありましたか』	第49号（06/7月）『子ども連れて初めての泊りがけ旅行』
第14号（96/12月）『理想の父親像と母親像』	第50号（06/11月）『子どもは何人ほしい？』
第15号（97/4月）『子育て中のお母さんの自由時間』	第51号（07/2月）『子どもに習い事をさせますか？』
第16号（97/6月）『子どもを預けたことはありますか』	第52号（07/8月）『「3歳児神話」をしていますか？』
第17号（97/9月）『子育て中のストレス解消法』	第53号（08/1月）『子どもを預けたことはありますか？（その2）』
第18号（97/12月）『かかりつけのお医者選び』	第54号（08/4月）『「お母さんになった」など初めて感じたのは？』
第19号（98/4月）『“格好いいお母さん”が当たり前？』	第55号（08/9月）『結婚前の料理経験はどれくらいですか？』
第20号（98/6月）『35歳からの子育て』	第56号（09/1月）『ここが困った！子連れ外出事情』
第21号（98/9月）『これからはママもパソコン使います』	第57号（09/5月）『不況に負けない！ママの明るい節約術』
第22号（98/12月）『35歳からの子育て パートII』	第58号（09/9月）『孫育て』
第23号（99/3月）『実家とどうつきあっていますか』	第59号（09/11月）『ママ友とのおつきあい、どうしてますか？』
第24号（99/6月）『子どものアレルギーについて』	第60号（10/5月）『夕飯の献立どうやって考えていますか？』
第25号（99/9月）『子ども連れのお母さんが見た街作り』	第61号（10/8月）『子育て支援で、本当にしてほしいことは？』
第26号（99/12月）『子育てが楽しいと感じる時』	第62号（10/11月）『パパはイクメンですか？』
第27号（2000/3月）『離乳食は得意ですか』	第63号（11/2月）『35年で変わったこと、変わらなかったこと』
第28号（00/6月）『子育て仲間はどこで見つけましたか？』	第64号（11/5月）『育児日記をつけていますか？』
第29号（00/9月）『子連れで海外旅行に行きましたか？』	第65号（11/9月）『ママたちの節電対策』
開設25周年記念冊子（00/10月）『医療関係者向アドバイスブック』	第66号（12/1月）『今、大切にしたいもの』
第30号（00/12月）『私たちのミレニアム・ベビー』	第67号（12/6月）『育児で心配になったきっかけとその解決方法』
第31号（01/3月）『ママたちのIT革命』	第68号（12/11月）『子育てママのお正月』
第32号（01/6月）『子どもが生まれて夫婦関係が変わりましたか？』	第69号（13/3月）『名づけ』
第33号（01/9月）『妊娠してからの食生活の変化』	第70号（14/5月）『赤ちゃんを抱っこしたことはありましたか？』
第34号（01/12月）『絵本の読み聞かせをしていますか』	第71号（14/12月）『母乳への意識』
第35号（02/3月）『育児日記をつけてますか』	